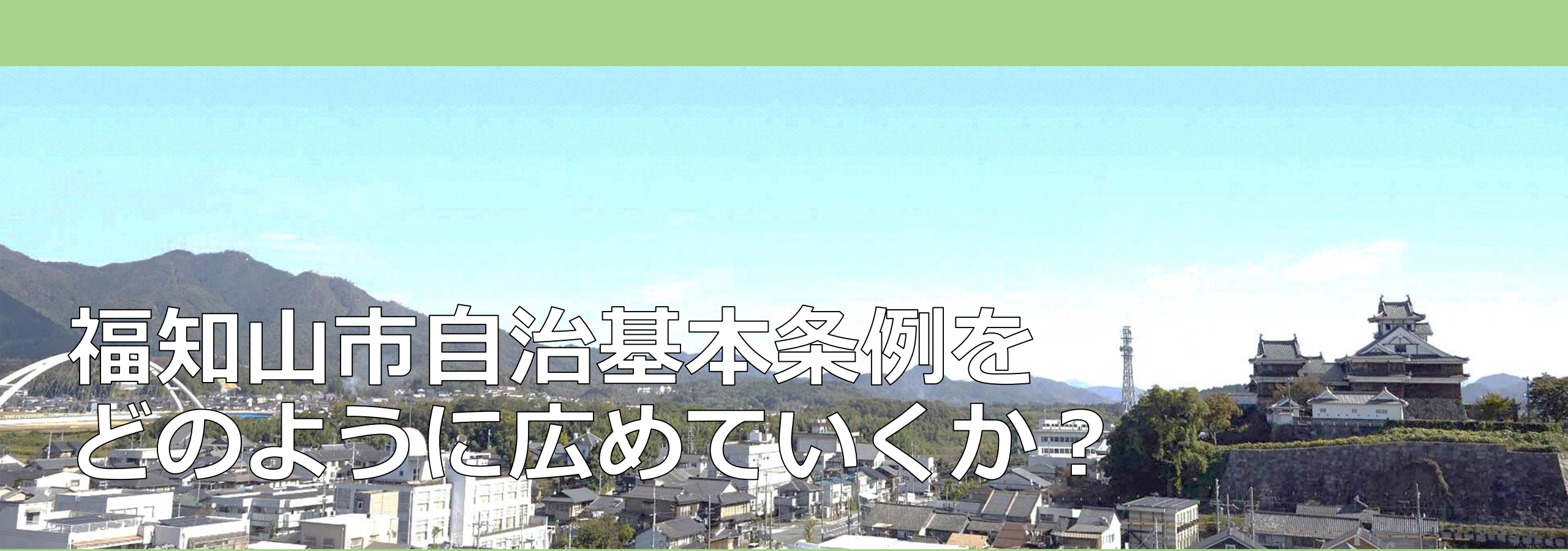




福知山市自治基本条例を どのように広めていくか？

自治基本条例推進委員会Cグループ

自治基本条例について

●福知山市自治基本条例とは

○福知山市のまちづくりにおけるもっとも基本的なルールを示したもの（自治体の最高規範/憲法）。

○その基本的なルールとは

「**まちづくりをみんなでいっしょに行うこと**」

= 「**参画と協働によるまちづくり**」

※参画：できたものに関わるのではなく、つくるところから関わること

協働：みんなが同じ目的のために協力し合うこと

自治基本条例について

●福知山市自治基本条例の認知度

「まちづくり構想 福知山」の施策の推進に必要なデータを調査することを目的に下記の方法で市民アンケート調査を実施しました。

●調査の設計

- ・調査対象：福知山市在住（市内に住民票がある人）の18歳以上の男女3000人
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・調査時期：令和5年11月

●回収状況

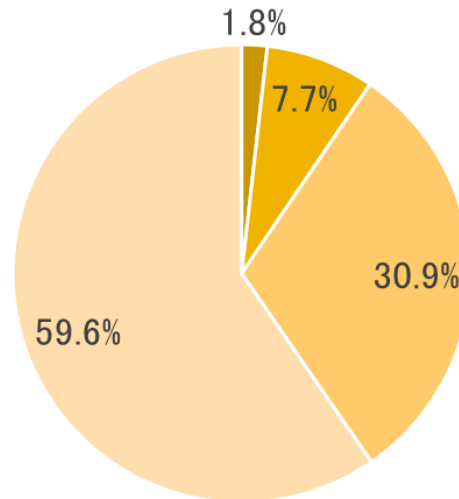
	対象者数	郵送戻り	到着数	有効回答数	有効回収率※
令和5年度	3,000	10	2,990	1,040	34.8%

自治基本条例について

●福知山市自治基本条例の認知度

この市民アンケート調査において、「福知山市自治基本条例」の認知度を調査したところ、**約6割の市民が「まったく聞いたことがない」と回答**しています。

「福知山市自治基本条例」を知っていますか？（1,000人回答）



- 1 内容をよく知っている
- 2 読んだことがある
- 3 読んだことはないが、名前を聞いたり、見たりしたことはある
- 4 まったく聞いたことがない

自治基本条例について

●令和5年度の自治基本条例推進委員会別班の提言

「継続的で効果的な周知方法への助言」

「住民自治又は市民協働の見える化への助言及び情報提供」

を行う必要があるという提言

⇒特に世代別のアプローチを考えてはどうか？

【令和6年度 Cグループの議論テーマ】

若年層を中心に自治基本条例を知ってもらう方法を考える

Cグループの議論について

- ・「自治基本条例」とだけ聞くと難しく感じ、現在のリーフレットの内容も市民参画に関する具体例がないため、読む人が少ないように感じる。
- ・自治会や防災など、協働によるまちづくりの具体的な事例を示さなければ、自治基本条例の理念は広まっていけないので、頑張っている自治会や地域の取組等を取り上げてはどうか。
- ・自治基本条例推進委員会自体にも若年層が入るような環境整備が必要。
- ・小学校の授業や放課後学習等で自治基本条例に関する説明の機会をつくってもらうように出向くことや、そこで出た学校からのフィードバックを基に利用しやすい資料やリーフレットを作ってはどうか。
- ・自治基本条例が制定されてからの変化を示したり、条例に基づきながら市の規則や市職員の仕事のやり方も見直すことも周知につながっていくのでは？

Cグループの議論について

- ・ 周知のために、①条例があることを知る、②条例の内容を知る、③実践することの段階がある。
→まずは、「条例があることを知る」段階から始める必要があるため、
自治基本条例に関する「フレーズ」や「愛称」を公募するなど一緒に考えては？
- ・ 「自治基本条例」だけの説明や勉強会では、どうしても固い場になってしまうため、
福知山市の歴史や文化も交えながら楽しく参加できる機会が必要では？

【議論のまとめ】

**「参画と協働によるまちづくり」の理念だけでなく、
具体的な取組に参加してもらうことを通じて周知を図る**

具体的な取組とは？

例：小学生・中学生向けの楽しく学べる講座の実施

自治基本条例のみを学ぶだけでなく、例えば「由良川と防災」、「由良川とまちづくり」等の夏休みの自由研究の題材等になるような取組を市（まちづくり推進課）中心に企画をして、地域公民館や他団体との協力を得ながら実施する。

※既に実施されている団体のイベントとコラボして、**相乗効果を図る**
→協働の1つの事例として具現化